

令和4年度「未来を切り拓く！県立高校資質・能力育成支援事業」における
教科横断型授業開発支援プログラムに係る公開授業実施要項

- 1 プログラムの目的
学習の基盤となる資質・能力や、現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成する視点からの授業改善の研究を推進し、その成果を県内高校に波及させる。
- 2 公開授業の日時
令和4年10月20日(木)

1限	午前8時50分～午前9時40分	(数学)
2限	午前9時50分～午前10時40分	(公民)
3限	午前10時50分～午前11時40分	(体育)
5限	午後1時40分～午後2時30分	(授業研究)
- 3 会場
鹿児島県立与論高等学校（〒891-9301 大島郡与論町大字茶花1234番地1）
- 4 教科横断型授業研究員(授業担当者)と研究内容
 - (1) 上吹越 務 教諭(地歴・公民科 評価研究部門)
(研究内容)・ 生徒の主体的な学習を促す単元シラバス, 単元テストの作成。
・ 明確かつ具体的な評価規準(基準)の生徒への提示。
・ レポートや自由記述問題に対するルーブリックを活用した評価の工夫。
・ 対話的で協働的な深い学びにおいて, 自らの考えを文章化・言語化する力の伸長を図る指導と評価の工夫。
 - (2) 石山 弘二 教諭(数学科 評価研究部門)
(研究内容)・ 言語活動を通して, 自らの考えを数学的根拠に基づいて論理的に表現する力の育成方法。
・ 自らの考えを数学的根拠に基づいて考察し, それらを言語化し, レポート等に表現する力の育成方法。
・ 「主体的に取り組む態度」の評価方法と評価規準(基準)の設定。
・ 単元で育成する資質・能力を評価する問題の妥当性と評価の時機。
 - (3) 田山 慶 教諭(保健体育科 STEAM研究部門)
(研究内容)・ STEAM等の各教科での学習を, 実社会での課題発見や解決に生かしていくための教科横断的な教育。
・ 他教科(数学, 物理, 情報)の知識を使った動画解析やデータ分析。
・ ICTとアクティブラーニングの視点を取り入れた課題解決型授業。
- 5 研究授業の内容

(1) 上吹越 務 教諭(地歴・公民)

教科・科目・対象学級	公民・公共 1年2組
使用教科書	『公共』 実教出版
単元名	社会権と参政権・請求権
学習活動	社会権の保障される範囲について根拠を持って自分の意見をまとめる。
評価の視点	根拠を持って自分の考えを表現しようとしているか。

(2) 石山 弘二 教諭(数学)

教科・科目・対象学級	数学・数学Ⅱ 2年2組
使用教科書	『新編 数学Ⅱ』 数研出版
単元名	図形と方程式 軌跡と領域
学習活動	与えられた条件を満たす点の軌跡について, 数学的根拠に基づいて考察し, 自分の意見をまとめる。
評価の視点	数学的根拠に基づいて考察し, 他者に説明しようとしているか。

(3) 田山 慶 教諭(保健体育)

教科・科目・対象学級	保健体育・体育 2年1組・2組
使用教科書	『アクティブスポーツ2021』 大修館
単元名	陸上競技 短距離走
学習活動	スタートの姿勢, 加速局面における走るフォームの改善
評価の視点	思考・判断・表現(自分や他者の動きを分析して, 良い点や修正点を他者に伝えようとしているか。)